

新規開業のご紹介

開業にあたって

谷川整形外科クリニック 谷川 浩 隆

開業して1年が過ぎましたが、まだまだ慣れずに慌ただしい日々を送っております。このたび医師会から新規開業報告の執筆のご依頼を受けました。

自己紹介をさせていただきます。私は松本で生まれ育ちました。家は本町の一つ東の通りの飯田町にあり、祖父の代まで大きな建具屋だったと聞かされています。

昨年、私が開業すると、患者さんの中でそのことを知っているお年寄りが受診して、当時の様子を教えてくれました。昭和初期に撮影されたと思われる、上土の松本館の建具を手がけた祖父の若いころの写真をくださった患者さんもいました。

そんなわけで、私は幼稚園から医学部を卒業するまで、この飯田町の家からすべて半径3km以内の学校を出ました。昭和62年に大学卒業後、信大の整形外科に入局し、県内病院で研修後、平成3年から2年間、癌研病院で骨軟部腫瘍を学んだあと大学に戻りました。卒業7年目で教室の骨軟部腫瘍の疾患班チーフを任せられ、臨床では悪性骨軟部腫瘍に対する広範切除術と患肢温存手術の導入に力を入れました。研究では骨軟部腫瘍におけるサイトカインの発現を、当時隆盛になりつつあった分子生物学的手法で調べ、学位をいただきました。

平成9年に一般病院に転出後は、以前から興味があった運動器心身医学の勉強を始めま



した。腰痛や肩こり、関節痛などの運動器疼痛の心理的要因について勉強するため精神科を研修することにしました。精神科の外来を週1回行い、信大精神医学教室のご厚意で3年にわたって毎週カンファレンスに出席しました。以後、心療内科学会などで整形外科的な心身医療についての発表をしました。平成15年には、第608回松本市医師会の生涯教育講座で「疼痛外来における精神症状」という演題で講演をさせていただきます。

一方で一般整形外科、特に関節と脊椎、そしてリウマチの臨床に力を入れました。手術も積極的に行い、人工関節は800例に達しました。

医学部卒業後26年目、一般病院に16年勤務した後、2013年7月、開業することになりました。開業までには、大学時代の同級生と、医局の同期入局の多くの友人がサポートしてくれ、助言や励ましをもらいました。また、

ありがたいことに地元のさまざまな業界の第一線で活躍している高校の同期生たちが、こぞって助けてくれました。開業するとすでに中年にさしかかったわが中学、高校の同級生たちが、肩が痛い、腰が痛い、ということで受診し、待合室が同級会のようになっていることもありました。

クリニックはあがたの森のすぐ奥の東側にあります。あがたの森は松本のシンボリックな公園です。私が学生のころはまだ公園として整備されておらず、旧制松高の古い校舎の横に思誠寮があり、友人も入寮していたためよく遊びにいておりましたが、現在は市民の憩いの場所になっています。診療の合間に公園の四季の変化を楽しんでいます。

これからは生まれ育った松本の地で、地域の皆さまの健康を守るための整形外科医療を地道に行い、一方で運動器心身医療についても発信していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

会報に対するご意見・ご感想 募集

日頃から松本市医師会報をご愛読いただきまして、ありがとうございます。広報委員会では会報の更なる発展のために、会報の掲載記事に対するご意見、ご感想を求めています。ご意見ご感想のある方は、松本市医師会事務局までお送りください。

記

- ①会報に関するものに限ります。
- ②内容は原則的に会報へ掲載させていただきますが、採否の決定については広報委員会に一任ください。
- ③会報掲載時は原則的に無記名といたしますが、提出時はお名前を明記してください。